

事後研におけるご質問への回答

Q:授業における英語使用について

A:CLをなるべく使うようにしています。95%以上は生徒が学習した語彙を使うように心がけています。活動の指示などは日本語で行うことが多いです。文脈からわかる表現は先取りの使い、教科書で出会ったときには教員が何度も使っていて、現実に使える表現であることを納得させたいと考えています。

Q:添削指導について

A:英作文の添削はほとんどしません。その代わりに、模範解答あるいは生徒が意図しているであろうと思われる文を複数提示するようにしています。冠詞などは生徒がよく質問に来ますので、質問しやすいように授業後はしばらく教室に残ります。評価に関わるような自由英作文は全員分添削してあげますが、基本的にALTに協力してもらうことはありません。

Q:「言いたかったけど英語で言えなかったこと」の共有について

A:普段の授業では質問を受け、生徒たちに考えさせ、モデルを提示します。その際、なるべく既習の語彙、文法を使うように心がけています。時間がかかりますが、力がつくのでこの時間は大切にしています。

Q:パフォーマンステストについて

A:年間で5回実施します。

- ①30秒で自己紹介してからのQ&A(日本で外国人の同級生に or 外国で外国人の同級生に)
- ②先生のスピーチを聞いてからの1分間のQ&A(スピーチはメモをとらせる)
- ③お気に入りの写真 or 絵をメールで説明する(CP室にて、持ち込み可)
- ④写真や絵について説明して、会話を続ける(計1分間)
- ⑤自分自身のことや友だち、家族、好きなものや興味があることについて30秒程度のスピーチを行い、その内容について1分間会話を続ける

全て生徒対教師で、別室で行います。評価については、1か月前にはルーブリックを提示し、観点と基準を伝えておきます。それらを意識しながら授業の諸活動に取り組ませます。

Q:Picture Describing の絵について

A:英検3級 or 準2級対策の問題集を使っていますが、美術部の生徒に頼んで描いてもらうこともあります。生徒自作の方が授業は盛り上がります。また、休み時間の職員室の様子をiPadで撮影して使うこともあります。必ず毎回初見のものを扱います。

Q: 目指す生徒像について

A: 各学年のゴールを設定しています。

- 1年次 自分自身のことや友だち, 家族, 好きなものや興味があることについて30秒程度のスピーチを行い, その内容について1分間程度会話を続けることができる。
- 2年次 自分の夢や思い出, 予定, 環境問題などの身近なテーマについて1分間程度のスピーチを行い, その内容について1分30秒程度会話を続けることができる。(ただし, 内容は比較・分析を伴うものとし, 論拠を明確にしながら論理的に話をさせる)
- 3年次 身近なテーマについてある程度即興的にディベートやディスカッションを行うことができる。(中学生の制服着用や携帯電話の保持等に関して)

Q: 語彙や文法の定着のさせ方について

A: 英単語オリンピックとライティングテスト(それぞれ年間5回)と授業におけるスピードインプット(単語 or 基本文の日本語を英語にする練習)で強化しています。英単語オリンピックとは, 教科書の語彙を中心に約300語を5分割したものです。

Q: 普段の授業(本文の扱い方)について

A: 教科書本文の扱いは, オーラルによる文法の導入→語彙の提示・練習→基本文の英作文→リスニングによる概要把握→ディクテーション(ディクトグロス)→日本語での推論発問による深い内容理解→音読練習→本文の和文英訳(全文)→文法のまとめ, という流れです。

Q: 小中の連携について

A: 小学校でCLをしっかりと学習しているのでそれは積極的に使います。また, 特に1年次は「話す・聞く」活動をベースに授業を組み立て, 評価も書くことばかりにならないように心がけています。

たくさんのご質問, ご意見をありがとうございました。